

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがお（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和8年1月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達段階や特性に合わせた療育支援	一人ひとりの発達段階や特性に合わせて、活動の内容や時間、環境などを調整しています。自分のペースで活動を楽しみながら「できた！」を実感できるように、個に合わせた事前準備を行っています。 支援会議で定期的に活動についての評価を行い、内容や目標についての検討・修正を行っています。 内容や手順、時間などについては、文字だけでなく写真やイラストで視覚的に理解しやすくしています。	社内研修や社外研修に参加し、職員のスキルアップに努めます。活動中の様子について、小さな気付きも職員間で共有し、より適切で効果的な支援を行っていきます。
2	支援プログラムの充実	健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の力を養うために、バランスよく活動内容を設定し支援しています。季節や施設外での活動も取り入れ、様々なプログラムから生活能力の向上へむけての経験を積めるようにしています。	個別活動、集団活動、発達段階や実年齢など、内容だけでなく分け方の設定や参加の仕方についても工夫していきます。
3	保護者や園との連携	日々の様子やエピソードなどを送迎時にお伝えしています。また、家庭や園での様子も伺わせていただき活動へ活かしています。 活動後は、保護者に連絡帳での報告と写真や動画での活動状況報告をしています。 事業所全体の報告として、定期的にSNSで活動についてお伝えしています。 個別面談では、一緒に成果や課題について話し合い目標設定に活かしています。	相談や情報の共有を、よりしやすい環境づくりに努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催	保護者同士の交流の場で何ができるのか検討不足だった。	お祭りに保護者や兄弟を招待し、全家族に参加していただいた。今後は、そういった機会に情報の共有や研修などを盛り込めないか検討をしていきます。
2	地域との連携	地域への情報発信や、地域行事の把握などが不十分だった。	SNS等で地域への情報発信を行っていく。 地域の方へ向けた無料開放は参加者がほぼ居らず、内容や時間などについて検討が必要と感じる。
3			